

水辺の生き物保全活動のための 多様な主体が協働するプラットフォーム作り活動

ひろげる助成

3年目

実践

連携団体の増加が
あった事業地

13か所

参加者数が
増加した事業地

8か所

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

85%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

プラットフォーム作り活動を実施しつつ、その一方でノウハウを取りまとめるには、時間の余裕がなかった。結局、ノウハウを含む事例紹介をレポートの形でまとめた。

■工夫した点

各事業地の実情、ノウハウを聞き出すために取材者を現地に派遣したが、それを補うため、毎年度末に関係者が集まってワークショップを開催し情報交換等を行った。



地域の農業者と連携して池干しで外来魚駆除

課題

参加の呼び掛け、普及啓発、連携する上での配慮、活動に必要な専門知識、人的資源・資金の確保などに関する活動事例をまとめることにより自主的なプラットフォーム構築に資する。

目標

各プラットフォーム構築において、新たなジャンルの構成団体の参画を7か所以上で果たす。また、3か所以上のプラットフォームにおいて新たな活動資金を獲得する。

活動内容と成果

14の事業地においてプラットフォーム作りに取り組んだ。その結果、302団体の協力の下、22,248人の参加があった。13事業地で連携団体が増加したほか、8事業地で参加者数が増加した。また、8事業地において、新たな活動資金を獲得することができた。そのうち1事業地ではクラウドファンディングにチャレンジし成功した。

さらに、プラットフォーム作りのためのノウハウに関する事例集「水辺を守る仲間づくり～水生生物保全プラットフォームをめざして」を制作、発行した。



水面を覆うヒシを市民の協力で除去



活動の結果、多くの在来種が見られる

全助成期間の活動を振り返って

14事業地でプラットフォームにおける活動を通して見えてくる課題から解決策としての対応ノウハウをまとめる予定だった。しかし、事業地ごとに事情が異なること、時間的余裕がなかったことで、各事業地における工夫をレポートした事例集を制作、発行した。

ただ、全ての事業地で新たなジャンルの団体から参画があり、3年間で延942団体117,179人の参加者の協力があるなど、プラットフォームの拡充・強化は達成できた。

活動地域 | 日本全域

〒142-0042 東京都品川区豊町4-17-9

電話：090-5219-1095

E-mail：ekarikob@gmail.com

http://www.no-bass.net/



今後の
展望

今後はさらにプラットフォームの拡充・強化を図る。

また、今回の事例集を補足するものとして、当ネットワークが地球環境基金の助成を得て制作した次の資料をホームページで紹介することで、プラットフォーム作りに関するノウハウの参考にできるようにする。

●「ノーバスガイドブック2009」(2009年3月) ●「外来魚のいない水辺づくり」(2012年3月)